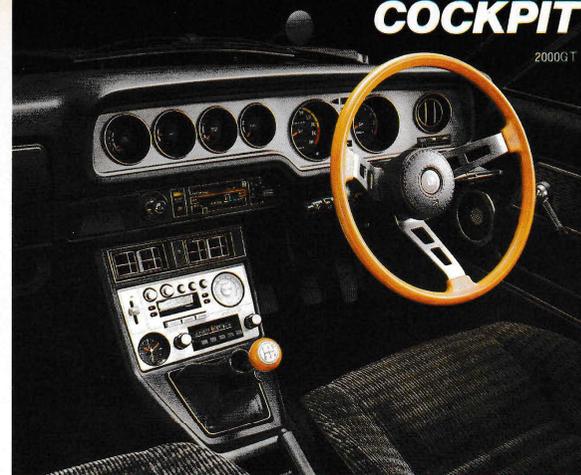


2000GT

登場 ASTRON80



PACIFIC



2000 GT

Power & Beauty セレステに待望の2リッター車、2000GT

クーペのために生まれた

正統派クーペ=セレステ

ひとつの設計思想のもとにセダンとハードトップ、さらにはクーペまでも開発し、世に送り出すことが多い今日のクルマ社会において、セレステは昭和50年の誕生以来、ひとえに「クーペ」のみに徹して歩んできました。流麗なスタイリングと、そのスタイルが生み出す低く安定した走り。ヤングハートに照準を合わせたインテリアと装備品の数かず。そして広く大きいラゲージスペース……。セレステには本格クーペだけが持ちうる「走りの美しさ」があります。「乗る楽しさ」があります。セレステ、それは開発段階からセダンを意識することなく誕生した、まさに「正統派クーペ」です。

セレステの最新、最強モデル。

それが新登場の2000GTです。

このセレステが、いまさらに歩みを進めひとつの新しい形を生み出しました。セレステ2000GTです。心臓には「エンジン技術の三菱」がそのテクノロジーを傾注しつくりあげた、MCA-JETシステム、サイレントシャフト付の「アストロン80エンジン」を搭載。動力性能を一段と向上させています。加えて足まわりには、その強力なパワーを的確に路面に伝える165SR-13の

ミシュランスチールラジアルコントロールする4輪デフ装備。さらにメカニズムはタッチ、ステアリングなどなおし、2000のグレートを採用。すでに定評のある「カニズム」に新たな磨き

装備のひとつひとつが2000としての風格が

セレステシリーズの頂点。装備品ひとつにも2000とされています。例えば機軸をあわせて装備されたアポデー色と統一されたサ限まで追求されたセレスに昇華させています。

また、室内にはカーステともいえる「FM+カセオーディオ・システムを指柄ベロア生地を使用したシートとともに乗る方々

もちろん6連メータやチパーヘッドコンソールな装着している機能装備採用。「2000としての風迫力」を極めつくしてい